NIE実践報告

1．タイトル：町の自然や歴史・文化の体験で学んだことをかべ新聞にまとめよう!

2．学校名

山口県田布施町立田布施西小学校

3．実践者名（代表者名）

山根　基秀

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・国語　34人

6．単元（本時の学習課題）名

「ふるさと田布施再発見!～思い出のかべ新聞を作ろう」

7．目標（狙い）

豊かな体験やその活動で学んだことを、話し合い活動や新聞活用をとおして、表現方法を見いだし、分かりやすくかべ新聞にまとめることができる。

8．評価の視点

まとめる内容について、自分の考えをもつことができたか。また、まとめ方の工夫点を、新聞記事や話し合いから意欲的に見いだそうとしたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「自分の考えを発信しよう」(教科書教材:大阪書籍) [国語:5時間]
「ふるさと田布施再発見!」[総合的な学習の時間:10時間]　　合計15時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①地域の自然や文化・芸術に関わる体験をし、感じたことをもとに、共通の課題を見いだす。(5時間)
　～自然、歴史、文化などの体験から、思ったことをまとめ、町の文化を発信する計画を立てる。
②体験で学んだことをまとめ、自分なりの課題を設定する。(2時間)
　～歴史や文化など領域を決め、俳句や体験コーナーなど発信方法を考える。
③学校文化祭を開催し、自分たちの思いや願いを地域に発信する。(5時間)
　～自然や歴史、文化に関わる体験コーナーを設け、田布施の魅力を紹介する。
④様々な体験活動をまとめ、ふるさと観や自分の生き方を探る。(3時間)
　～新聞活用からまとめ方の工夫点を探し、体験して学んだことをかべ新聞にまとめる。
(留意点)
・かべ新聞にまとめる活動において、見出しや色、構成など新聞からまとめる工夫点を探す活動を仕組みよりわかりやすくまとめることができるようにする。また、新聞記者からも意見をもらう機会を設定する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

かべ新聞にまとめる過程で、新聞の特性(字体、色、構成など)を見いだしていった結果、書き方を理解し、書く意欲が高まり、創造力も広がった。よって、活動がスムーズになった。

12．成果と課題

・体験をして思ったことや感じたことを俳句に表したり、かべ新聞に書いたりする活動で、新聞を活用することによって、表現方法が参考になり、製作への意欲や創造力が養われた。また、地域の「ひと・もの・こと」とふれあう中で、自分なりのふるさと観をもち、より豊かな生活を送ろうとする意欲が高まった。
・かべ新聞を作る過程で、取材や調査、資料収集、まとめ、書くなどの体験活動をとおして培われた力が、各教科などに生かされ、学力向上につながるものと期待している。
・言語力・社会力の育成のために、新聞活用を有効に活用できる授業作りをしていきたい。